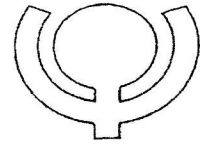


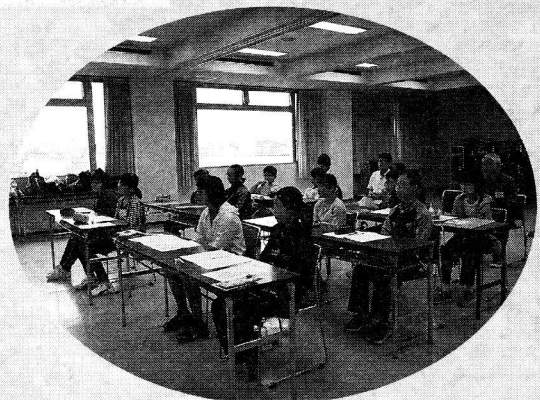
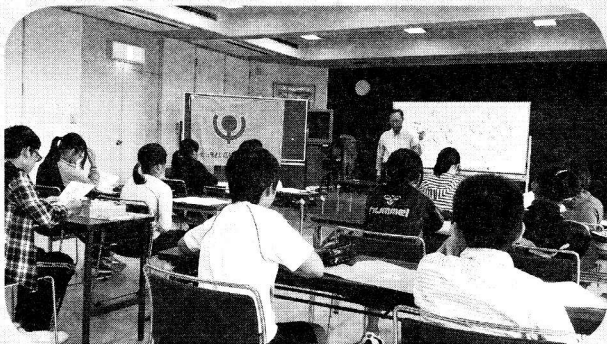
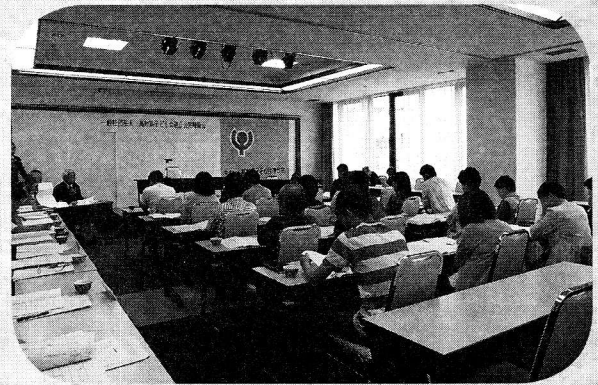
一般社団法人 高知県子ども会連合会



# 高子連だより

No. 62

平成29年2月27日発行



# 高知県子ども会連合会定時総会を開催しました

平成28年6月19日高知県子ども会連合会定時総会が行われました。議案については、平成27年度収支決算報告・監査報告で承認されました。

## 平成28年度 一般社団法人高知県子ども会連合会役員名簿

役職	氏名	所属部
相談役	横川 遊亀 壽	
	池上 隆 一	
	西内 昭 男	
	小倉 卓	
会長	杉村 高 晴	
副会長	前田 良 二	安全教育部長
	森下 幸 則	事業部長
	小谷 正 治	研修部長
	陰山 加 代	広報部長
	土居 晃	総務部長
理事 ブロック選出	近森 春 樹	研修部
	宗圓 幸 司	広報部
	坂本 守 正	事業部
	古谷 雅 之	事業部
	緒方 正 綱	安全教育部
監事	吉永 宣 生	総務部
	平山 佳志美	
	尾崎 和 敏	

## 高知県子ども会連合会 賛助会員（順不同）

会 員 名 (団体)	
(株)サニーマート	(医)レザレクト 藤川クリニック
ひまわり乳業(株)	(有)三代目竹内石材
高知電気建設(株)	高知街地区民生委員児童委員協議会
(一社) 高知県建設業協会	与力町町内会
(一社) 高知県山林協会	帯屋町筋商店街
西富 騰写堂印刷	(株)竹内石油
(有)西村 騰写堂	(有)横山建設
(医)仁生会 細木病院	小松基礎

会 員 名 (個人)		
西内 昭男	前田 良二	陰山 加代
杉村 高晴	森下 幸則	小谷 正治
土居 晃		



## 高子連専門員

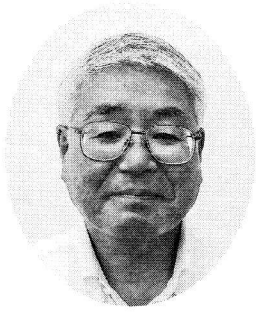
氏名	住 所	備 考
安岡 雄 三	安芸市	委員長
谷地森 秀 二	須崎市	
山崎 功 一	高知市	
木下 洋 一	香南市	
加藤 用 子	高知市	
小谷 正 治	香南市	

## 高子連表彰選考委員

氏名	住 所	備 考
西内 昭 男	吾川郡	委員長
小倉 卓	高知市	
小田切 泰 禎	高知市	
野島 利 和	香南市	

## 各 部 委 員

総務部	安全教育部
土居 晃 (部長)	前田 良二 (部長)
吉永 宣生	緒方 正綱
藤岡 和子	広報部
研修部	陰山 加代 (部長)
小谷 正治 (部長)	宗圓 幸司
近森 春樹	事業部
	森下 幸則 (部長)
	坂本 守正
	古谷 雅幸



## 会長あいさつ

(一社) 高知県子ども会連合会  
会長 杉村 高晴

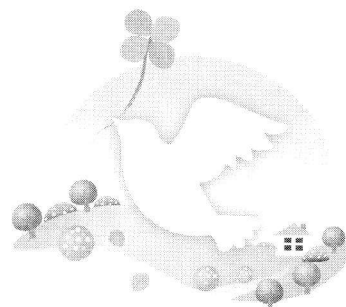
平成28年度定時総会が、6月19日(日)に開催されました。定時総会の議案は平成27年度収支決算報告と監査報告でしたが、これに付随する平成27年度事業報告、平成28年度事業計画及び予算、平成27年度末公益目的財産額の報告も説明させていただきました。この中で、高子連の財務状況や事業運営における現状や課題について説明いたしました。また、今後高子連をどのように運営すべきかについてもお考えいただくようお願いいたしました。

意見交換の場では、質問や行政への支援拡大、事業内容の説明などの要望がだされ、有意義な時間が共有できたと思います。

高子連は法人化により、法的な縛りや決まりごとが増え、以前のような活動や運営・金の支出ができず、現在のところ収益事業を行っていないため、会費収入が唯一の収入源となっています。平成27年度末で法人会計の残額は75万円余り。本年4月より会費を200円としましたが、本年度末の残額推計は200万円程度で事務局経費も賄えない状況です。会費は3年を目途に検討することとなっていますが、市町村の補助金で会費などを賄っている市町村子連は、今後これ以上補助金の増額は望めないと考えます。このため、行政からの支援は受けつつ各市町村子連では、会費各位から高子連会費や共済掛金をご負担いただく取り組みを検討いただきたいと思います。

次に、事業や行事への参加についてのお願いです。せっかく研修会や行事を計画しても参加者が少なく研修会が中止となったり規模を縮小するなどの事態がここ数年起こっています。会費をいただいているが、会員の皆様に恩恵を与えられない状況です。社会教育団体の会員のメリットは、研修会や行事に参加し「喜び」「達成感」「感動」を会員同士で感じていただく以外にありません。1人ではなく2人・3人で誘い合って大勢で参加することで、それぞれの単位子ども会や市町村子連が活性化することを期待しています。

高子連は会員の皆様のための会であり組織です。各単位子ども会や各市町村子連あつての高子連です。連合会としての存在や使命を考えながら私たち役員も事業推進に取り組んでおりますので、会員各位の積極的なご支援ご協力をお願いします。また、財源確保のため、賛助会員の発掘についてもご協力をお願いします。



# 活動報告

## 全国子ども会安全啓発上級公認指導者（KYT） 中・四国で2人です



「今まで事故がなかったから大丈夫、が一番怖い。安全のためには万全を期して想定外をなくすことが大切」

県子ども会連合会の副会長を務める前田良二さん（59）＝須崎市下分甲＝は、20年以上にわたり、子どもたちの安全教育に携わってきた。

「KYT」と略される「危険予知トレーニング」の指導に特に力を入れてきた。KYTとは、日常風景や作業などの風景が描かれたイラストを見て、発生する可能性のある事故を予測し、その対策を考える訓練。製造業や建設業などでも活用されている。

例えば、子どもたちが川遊びをしている風景のイラスト。周囲の友達から離れて一人で深いところに行こうとしている子どもの姿から「このままでは溺れてしまう」

と想像させる。「ただ『危ないですよ』じゃなく、具体的な危険を空想させて『なぜ危ないのか』を教えれば、子どもたちは自分で行動できる」

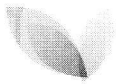
前田さんは、36歳で胃がんになり、死を覚悟した闘病生活を送った。手術して完治した時、当時携わっていた子ども会に「残った人生をささげる」と決めたという。以降、須崎市や県で、子ども会の運営に尽力してきた。

2003年からは、全国子ども会連合会が東京で開催しているKYTの講習会に何度も足を運び、今年7月には「上級指導者」に認定された。**四国で1人目**という。学校を回って講演するほか、指導者の育成にも取り組んでいる。

「命の尊さを軽はずみに考えたらいかん。KYTをまだまだ広めていきたい」  
出張講習の希望も受け付けている。

問い合わせは、県子ども会連合会（088・855・5481）へ。





## 第44回中国・四国地区子ども会ジュニア・リーダー大会

### 【目的】

中国・四国地区で活動する子ども会ジュニア・リーダーが一堂に集い、各地の活動、また「子ども会」について理解し、地域の温もりと大切さに気付いてもらうことで本来の子ども会ジュニア・リーダーとしての活動につなげていくことを第一の目的とする。

今回のテーマ『One for all All for one』は「1人の子どもはみんなの子ども会のため、みんなの子ども会は1人の子どものため」という意味で、3日間の活動をこのテーマに基づき、参加者の子ども会JLとしての資質を育てていきたい。

【テーマ】 『One for all All for one』

【期 日】 平成28年8月19～21日

【プログラム】 班活動、話し合い活動、キャンプファイアー等

【会 場】 国立山口徳地青少年自然の家

【参加者】 副会長1名、ジュニアリーダー8名、計9名



## 第41回高知県子ども会連合会育成大会（南国大会）

### 【目的】

子どもたちを取り巻く社会情勢が変革する中で、私たち子ども会が、次代を担う子どもたちの安全確保や健全育成、さらには地域づくりに果たしてきた役割は非常に大きなものがあります。

そして今、いじめや不登校、子どもへの虐待など心が痛む深刻な事件が毎日のように報道されています。「地域のこどもは地域で育む」をスローガンとして活動する私たち子ども会の重要性は、益々高まり期待も大きくなっています。

このような事態を踏まえ、限られた時間ではありますが、講演や実技、交流を通じて「地域の子どもを育む子ども会の使命」「指導者・育成者の力量アップ」という視点の下に、子ども会の持つ素晴らしさや課題を共有しあいながら、明日に生かせる取組みを学び合ひましょう。

【期 日】 平成28年10月2日

【会 場】 南国市役所

【プログラム】

講 演 「子どものネット利用と大人の果たす役割」

千斗枝グローバル教育研究所

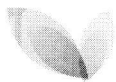
代表 山中千枝子氏

分科会 ① K Y T (危険予知トレーニング)

② バルーンアート

③ 万華鏡作り

【参加者】 指導者、育成者 45名



## 第47回中国・四国地区子ども会育成研究協議会島根大会

【目 的】

路地や空き地が子どもの世界から失われてから久しい。そして、子どもの生活環境や教育環境も大きく変化し、様々な課題が累積されている。戸外での遊びが奪われ、その結果望ましい生活体験も不足している。子どもにとって必要なことは「よく学び・よく遊び」であり加えて「よく食べて・よく眠る・しっかり出す」この当たり前の生活を取り戻すことを、本大会において今一度考えてみたい。

【テーマ】 「体験の風をおこそう」

【期 日】 平成28年11月19日・20日

【会 場】 ホテル一畑

【プログラム】

基調提言

提言者

新田新一郎氏

公益社団法人全国子ども会連合会理事

有限会社プランニング開 代表取締役・アトリエ自遊楽校主宰



演 題 「子ども会活動が日本の子ども達を救う」

記念講演

講 師 春雨や落雷 (安倍 正之氏)

第一部 お達者落語 江戸古典落語

第二部 いきいき医学講話「笑いと免疫・・・そして健康」

分 科 会

第1分科会 子ども会の会員増強と魅力ある活動を考える

第2分科会 子ども会組織の活性化について考えてみよう

第3分科会 K Y Tの推進で活動中の事故の減少を目指そう

第4分科会 シニア・リーダーとして子ども会を考える

第5分科会 体験の館

・出雲そば打ち体験・松江の和菓子作り体験・体験の館（バルーン、竹細工、クラフト等）

【参加者】 300名（うち高知県19名）

### 第1分科会

鳥取県子連の取り組みについて提言があった後、班毎（7班）に分かれて、「魅力ある子ども会活動」をテーマにそれぞれの班で討議した内容について発表し、情報共有を行いました。

○鳥取県子連の取り組みについて

鳥取県では平成25年に「県子連のあり方検討委員会」なるものを組織し、県子連として何をすべきか役割を明確にしています。

その中で、県子連がリーダーシップを発揮し、市町村子連で新たな役員となった方を対象に「子ども会とは」というテーマで研修会を行ったり、県子連の役割や専門委員が中級や上級を全子連で学び、市町村子連に派遣できる体制をとっているなど、市町村子連を盛り上げようとする取り組みが行われているのが印象的でした。

○「魅力ある子ども会活動」をテーマにした班毎の討議内容について

グループ討議では「子どもにとって」または「育成者にとって」どのようなことが重要度が高いか、または、低いかを出し合いました。

重要度が高いか、低いかは個々の感じ方がありますが、主に出た意見は下記のとおり

- ・「異年齢活動によりコミュニケーション力がつき、子ども自ら成長を感じることができる」
- ・「体験活動を通じて達成感を感じられる。成功のうれしさ、失敗の悔しさを味わえ、危機察知能力も養える」
- ・「親子の絆が深まる、責任感が生まれる」
- ・「育成者にとっては何といても夜の交流（飲み会）は重要」
- ・「地域活性化につながる」
- ・「学校に子ども会の重要性をPRしてもらえたら、会員増につながるのでは」
- ・「会費が高い」

などなど

最後は、「子ども会活動」は子どもの生きる力を育て、親子、三世代の交流を進め、地域に活力を生むことができる活動であることの共通認識を参加者全員で持ち、会を閉じました。

今回の研修で学んだ事を、自分自身のできる範囲で生かしていければと思いつつ、報告とさせていただきます。ありがとうございました。

### 第3分科会

「KYTの推進で活動中の事故の減少を目指そう」をテーマに各県より27名が参加、高子連より前田副会長が提言者となり、司会を塩見さん、助言者を陰山さんが努め、命の尊さを学ぶ協議が2時間半行なわれ、楽しい子ども会活動になるよう今後もKYTの活用を広げてゆくと締められました。

今年度は高子連がバスを用意し大勢での往復道中で大変盛り上がりましたが、あいにくお天気が悪く大山のすばらしい景色は見る事ができず次回にお預けとなりました。

よく学び、よく遊びをモットーに活動しております。来年の中四の大会に多くの育成者が参加される事を期待しております。

### 第5分科会

総勢27名が参加し6班に分かれてそば打ち体験をさせていただきました。

高知県からはなんと10名が参加しました。皆さん、初めての体験であり戸惑うことばかりでしたが講師の歴史館そば店経営者の原さんのユーモアを交えた指導で、こねて・伸ばして・切つての工程を皆が和気藹々のなか交互に体験することが出来ました。

まず、最初の作業として、そば粉をこね鉢に入れて指先を使い素早く混ぜる作業ですが、どの班も四苦八苦でひと塊にならず、原さんの力を入れず素早く混ぜるとアドバイスをいただきなんとか塊になるまでこねることが出来ました。その後の工程も四苦八苦、隣の班の作業を横目でみながら、なんとか麺棒にくるくる巻いて打ち粉をふり、切りやすい大きさに縦上下おりたたみやっと切る作業まで進むことが出来ました。

出雲そばは、割子そばで麺が非常に細いのが特徴で出来るだけ小さく切るのが良いそうですが大きさはバラバラでとても割子そばになるとは想像できない出来ばえでしたが原さんからは初めてにしては上手に出来ていると褒めていただきました。

この後、沸騰したお湯で1～2分間茹でて完成です。3段重ねの筒割り形の器に入れて試食をしました。自分で作った出雲そばの味は格別で何杯もお替わりをしました。

最後に、そば打ち体験を企画してくださいました島根県連のスタッフの皆さん、講師の原さん、貴重な体験をさせていただき有難うございました。



## 第50回全国子ども会育成中央会議・研究大会

【期 日】 平成29年2月17日～19日

【会 場】 久留米シティプラザ・萃香園ホテル

【開催趣旨】

公益社団法人全国子ども会連合会は、その目的を定款第3条で、「子ども会活動の助成に関する事業を行い、子どもの社会生活に必要な徳性の涵養、及び子どもの健全育成に寄与すること」と定めており、この目的達成を目指して活動を進めております。



第50回全国子ども会育成中央会議・研究大会は、平成28年度の運動方針にある「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」に鑑み、九州地区の各県子どもたちによる伝統芸能の発表が2日目にあります。

第48回の名古屋市では、自然共生都市の実現に向けて、次世代の子どもたちのために持続可能な社会を構築する取組みとして園児・学校・大学など段階に応じた環境学習を推進し、子どもたちに自然との共生をどのように伝え、残していくかをみなさまと共に議論を深めました。

この研究大会が「子どもたちの未来の環境のために」「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」を考えることにより地域で一層の取組みがなされることを願っております。

【テーマ】 「地域のまち創りは子ども会から」

～子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！～

【プログラム】

記念講演 「いま、大切にしたいこと」 武末龍泰氏

対 談 「子ども会の明るい未来」

情報交換会

分 科 会

第1分科会 「子ども会の中で育つ子ども」～子ども会が必要なわけ～  
地域社会における子ども会の役割を考えよう

第2分科会 「子ども会活動の運営」①～運営するのは誰か～  
子ども会育成会の視点から考えよう

第3分科会 「子ども会活動の運営」②～運営するのは誰か～  
子どもたちの視点から考えよう

第4分科会 「子ども会活動の発展と継承」①明日へ、未来へ繋ぐ活動は～  
活動内容（事業）を考えよう

第5分科会 「子ども会活動の発展と継承」②明日へ、未来へ繋ぐ活動は～  
人的継承の視点から考えよう

第6分科会 「子ども会ジュニア・リーダーと指導者の役割」～何のために～  
ジュニア・リーダーからシニア・リーダー、そして指導者へ

第7分科会 「子ども会における安全教育」～安全教育の推進～  
安心して楽しくチャレンジするために

第8分科会 「子ども会の会員を増やすためには」～少子化だけではない減少の理由～  
魅力的な活動をするために

郷土伝統芸能活動発表

【参加者】 1,000名（うち高知県5名）

## 【平成28年度 表 彰】

高知県子ども会連合会会長表彰被表彰者

○ 指導者

森下幸則（南国市）

○ 育成者

村上純子（高知市） 近藤恵子（安芸市） 長野尚美（安芸市） 竹村あずさ（香美市）

中国・四国地区連絡協議会表彰被表彰者

○育成者

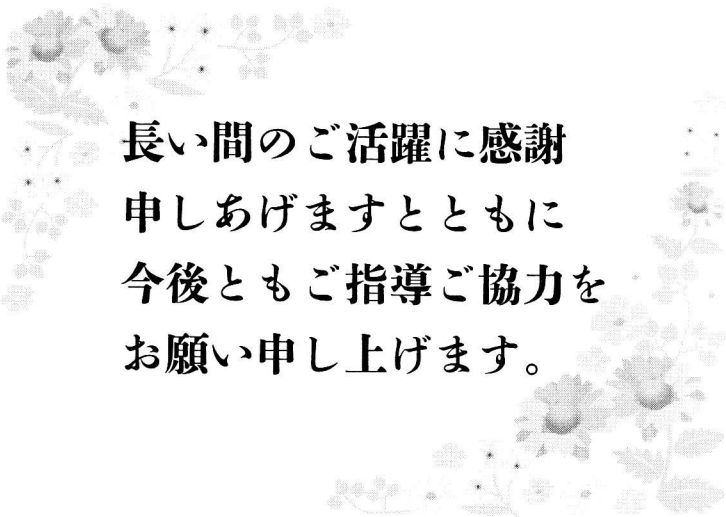
二宮 大（南国市） 小松一章（安芸市）

全国子ども会連合会表彰被表彰者

○ 育成者

岡本晟子（高知市）

徳久知子（安芸市）



長い間のご活躍に感謝  
申しあげますとともに  
今後ともご指導ご協力  
をお願い申し上げます。



### 高子連指導者・育成者研修会

#### 【目 的】

単位子ども会の育成者や育成会の代表者が、毎年のように交代している状況の中で、子ども会の持つ目的や役割についての継承が十分できていないとの声が多くあります。このため、指導者・育成者を中心に特に、新任の育成者の方に参加いただき、基礎的な子ども会の知識を取得していただくための研修会を開催します。

【期 日】 平成28年6月26日

【会 場】 のいちふれあいセンター

#### 【プログラム】

講 話

子どもたちは宝物、おとなは子どもたちのサポーター  
～子ども会活動でおとなも子どももすばらしい成長を～  
香川県子ども会育成連絡協議会 野郷光宏氏

## 実技講習

- ・今すぐに出来る楽しいゲーム
- ・楽しいバンブークラフト

【参加者】 25名

参加者からは好評で、また来年も参加したいと思います。という嬉しい声をいただきました。



## K Y T 初級指導者養成講習会

7月24日に須崎市総合保健福祉センターで4名が受講しました。

2月5日には初級認定講習会・実技テストを行い、1名が初級指導者として認定されました。

県子連では安全教育推進のため、各単位子ども会に1人移住のK Y T 認定指導者を置くことを目指し、県下で講習会を開催しています。また「全国子ども会安全共済会」には会員全員の加入促進を図り、安全・安心の子ども会を目指します。

また安全教育部、前田良二氏によるK Y T 講習会が県下各地で行われました。

8月17日 須崎市教育委員会K Y T 講習

8月25日 香南市高齢者障害講座（命の尊さ）

10月2日 高子連育成大会K Y T 講習

10月20日 はりまや橋小学校4年生学年行事としてK Y T 講習、親子140名参加

### K Y T の推進で活動中の事故の減少を目指そう

子供たちの環境が日々変わって来ています。インターネット依存症やそれに関する痛ましい事件事故です。これが青少年の問題になっています。本来、自然体験等、体で覚え学び知ることが大切ですが、何もしないで学校の勉強だけで成長していく子供たちが増えています。子ども、保護者も色々な体験にチャレンジし共に学んで頂きたいです。体験には危険がつきものです。自分で危険を回避する事を学ばなければなりません。

子ども会では役員の方や関係者に指導者の心得、命の尊さを重視して頂き、K Y T の大切さを学んでいただきたいと思います。そして少しでも早くK Y T を実践していただきたいと思います。

各地で行われるK Y T に参加し、学ぶことが理想の子ども会行事に変わり、指導者としても大きく

成長していきます。

本年度の文科省の目標は、「生きる力」を掲げています。まさしく子ども会の出番です。

「生き抜く力」「命の尊さ」学力も勿論、重要ですがどんな苦難にも立ち向かって生き抜くことを社会全体でそして子ども会で学んでもらいたいと思います。そのためのKYTだと私は考えています。今後の講習会は防災、防犯、交通事故にも活用できます。将来必ずやってくる巨大津波にも備えなければなりません。生きていくための講習会と言っても過言ではありません。みなさんといっしょに命の大切さを考えそれぞれの子ども会の悩みも聞きながら安全教育について学んでいきましょう。

高知県子ども会連合会 副会長 安全教育部 部長 KYT上級認定指導者 前田 良二



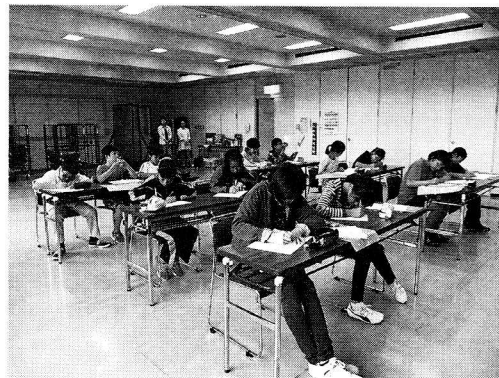
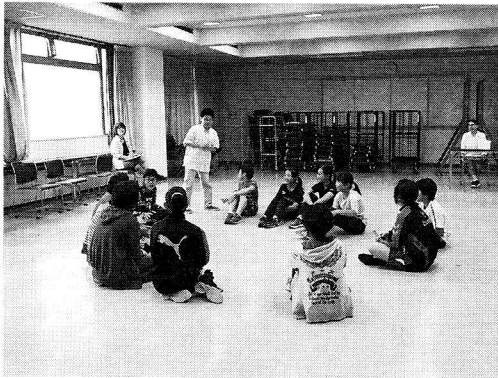
## 高子連ジュニア・リーダー講習会

6月12日香南市夜須町中央公民館で開催されました。

今年は、小学5～6年生も含んだ講習会としました。

安芸市子連より8名 内 小学6年生3名、南国市子連より5名 内 小学6年生1名、計13名の参加でした。

午前中は、「楽しくわかる子ども会」という演題で、西内昭男さんの講義を受け、午後は、小谷正治研修部長よりアイスブレイク、子ども会活動に即使えるゲーム等の実技講習をうけました。



今日、初めて講習会に参加をして、特にアイスブレイクが楽しかったです。講義で子ども会の事について、お話を聞き、ジュニア・リーダーの役割は、とても大きい事が分かりました。アイスブレイクは、知らない友達と、ゲームをしたりしてはざかしいし、きんちょうをしたけどとても楽しかったです。なぜ、アイスブレイクと言うのかよく分かりました。

今日の、講習会に来て、ジュニアリーダーの事について、自分もこんな風になりたいなと思いました。また、講習会に来たいと思いました。

小学6年 前田 心羽

私は今日の講習会で、人との繋がり、接し方を学びました。西内さんの講義は1人はみんなのために動いて、その地域みんなは子供達のために動いて、協力して繋がりを強くしていると思



いました。けれど繋がりをつぶすには、たくさんの時間と労働が必要だと思います。子どもたちの笑顔にはお金じゃ手に入らない価値があると思います。私も誰かの笑顔につられてみんなが笑顔になるという姿を見た事がありますが、今度は私がみんなを笑顔にするという課題ができました。そして、必死にこの場も楽しませようと盛りあげたジュニアリーダーの先輩2人は短時間で楽しめるゲームを考えたと思うとすごいです。私達もその姿を見て、いつかはそうなると思うときんちょうしますが頑張ります。

中学2年 小松 明日美

今日一日をどうして、分ったことは、ゲームのやりかたは、いっぱいあって、例えば自己紹介の時にも、前の人の名前を言って自分の名前をいうなど、みんなとふれあいながらでき、ほかに、グループで協力しながら、ゲームをやったりと、みんなと仲良くなれた気がします。ほかに、もし自分が、みんなにゲームを説明するときなどの工夫などをおしえてもらって、すごい体験ができました。それとこれからは、ジュニアリーダーのせんばいに、いろいろおしえてもらって、これからも、そのことを思い出して、がんばっていきたいです。今日は、本当にありがとうございました。

中学1年 葛岡 未宮

今日は安芸の人達のレクリエーションの交流や話ができ非常に良かったと思います。またレクリエーションではいろいろな場合や場面にそなえて、たくさんあることが分かりぜひやってみたいなあと思いました。

私は自己紹介のレクリエーションをもっとやっていきたいなあと思いました。

中学2年 藤村 健太



## 緑の募金

### 【春の募金活動】

4月17日 中央公園北口とひろめ市場前の2カ所で行われました。

安芸市子連5名、南国市子連3名、いの町子連13名、高知県子連5名、計26名の子どもたちが参加をし、街頭募金に協力してくれました。

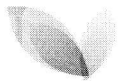


### 【秋の募金活動】

10月8日、中央公園で緑の募金活動が行われました。

高知市子連より2名、いの町子連より10名、高知県子連より3名が参加をし、街頭募金に協力してくれました。お疲れ様でした。

日差しの強い中、皆さん最後まで大きな声で呼びかけをしてくださいました。ご苦労様でした。

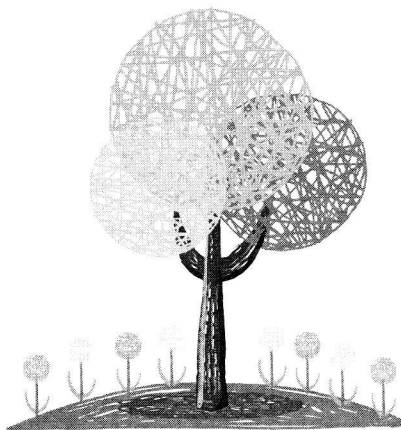
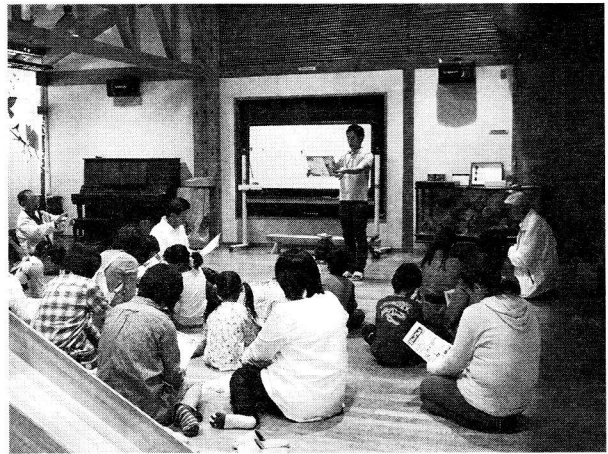


## 第18回緑の少年団大会

10月30日 緑の募金活動事業である「第18回緑の少年団大会」が香美市土佐山田町大平の森林センター情報交流館で39名の親子の参加があり開催されました。

森林の役割等について学びピザ作りも体験し、お弁当と一緒においしくいただきました。創作活動では、のこぎり体験をして壁掛けを作りました。

晴天に恵まれ楽しい体験が出来ました。



昨年、10月に高知県子ども会連合会  
相談役(元会長)池上隆一様が、  
ご逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈りいたします。



### (一社) 高知県子ども会連合会

事務局所在地

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号  
丸ノ内ビル3F

高知県社会福祉協議会分室内

☎ 088-855-5481 FAX 088-855-5481

編集 広報部 陰山・宗圓

発行責任者 会長 杉村高晴